

# ソフト面

はじめの友達かいてできる

先生が優しくて

人数が少なく、のびのびとした雰囲気

人数の少ないところ

園児数が減ってきている。

人数の少ないところ

昔年はたばこの殻食に出たことがあった。

待機児童が少ない

集団生活を送れる(学べる)

新城はとも園から新築された所が年長

色々の人と関わりかかれる。

未滿児(職稱)でも預けられる。

田舎らしくて

どのこども園も自然に囲まれた環境が良い

すぐ近くで自然にふれ合える環境

走り回れる。運動場がある。

虫嫌い、こくぶくび。

得意な環境は昔の城山こども園の所が強い。

# ハード面

建物

トイレに2人

施設が老朽化している

老朽化の進んだ園がある。

建物の修繕は予定がたつとらあやむ。

駐車場

保育園+駐車場の料金と無償にしてる園と有料の園あり。不公平感がある。

駐車場が不公平

地域の人か気軽に見に行ける

気軽に対応してくれて。入園が難しくなった3男に

こども園の親の負担を減らすため、子育て支援センターの設置も考えている。

保育士の多忙を解消したい。子育て支援センターの設置も考えている。

保育士定数を増やすかという意見がある。

新設市独自の定数増えれば、住みよい町子育て支援センター(給付型)も中長めに考えたい。

保育士の確保と課題

# 理想の子育て環境

公園

自然をまかした遊び場(家)

公園があり、外遊びしやすい環境

広い敷地のこども園でのびのびと遊ばせられる

自然とつながる環境

緑豊かな自然(公園)に環境

危険な所はすぐに修繕・改修できる環境

歩いて行ける保育場所

育児休業・育児休暇をとりやすく

病児保育

映画、ミュージカルなどの文化的行事を開催することで豊かに育てる。

徹夜明けの行事あり。夜間も保育士がいる。

大人が子供を大切に接する社会づくり。即座作の子供をみることで、大人が持つ環境

子育て世代(世帯)が経済的な不安を抱かない。

困る迷う時には相談できる人が、周りにいる。

地域のかいじいおばあちゃんに預かってもらう保育する環境

相父母、近所の人か、(働く子供)声をかけられる。(口出しできる)

国・県中が、子育てに関する予算を大幅に増やす

子育て支援策の充実

保育士の人数を多く配置し、ゆとりを持って保育できる

保育士1人でこども3人以上を見る環境

保育士の多忙を解消して、子育て支援

保育士は保育に専念できる環境(用務員、専ら)